

改めて
見直そう

これからの川崎を担う子どもたちを育てる キャリア在り方生き方教育

平成28年度から始まった「キャリア在り方生き方教育」がますます注目されています。

文部科学省が示している「第4期教育振興基本計画」では、これから目指す教育について2つのコンセプトを示しています。

持続可能な社会の創り手の育成

日本社会に根差した ウェルビーイングの向上

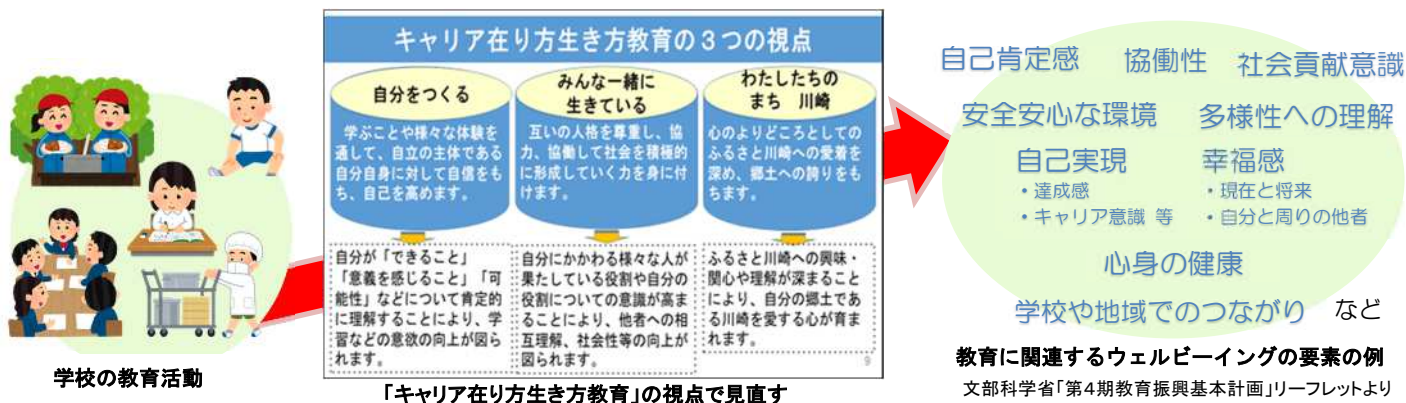
コロナ禍の影響や社会状況・社会構造の変化等を背景として子どもたちの抱える困難が多様化・複雑化する中で、一人ひとりのウェルビーイングの確保が必要とされているとともに、主体性や創造力を育み、持続可能な社会の創り手の育成を図ることや、地域での学びを通じて共感的・協調的な関係性に基づく地域コミュニティの基盤をつくっていくことが大切であるとされています。

「ウェルビーイング」とは…

身体的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念です。多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念でもあります。

どうして「キャリア在り方生き方教育」の充実を図る必要があるのですか？

教育に関連するウェルビーイングの要素として挙げられているものは、「キャリア在り方生き方教育」で育む力や態度等と大きく重なっています。これからの社会を創り、その中で生きていく存在である子どもたちは、「変化の予想が難しいと言われている社会で自立に向けて大切になる力」を身に付けていく必要があります。そのため「キャリア在り方生き方教育」の重要性が改めて注目されているのです。



「キャリア在り方生き方教育」とは…

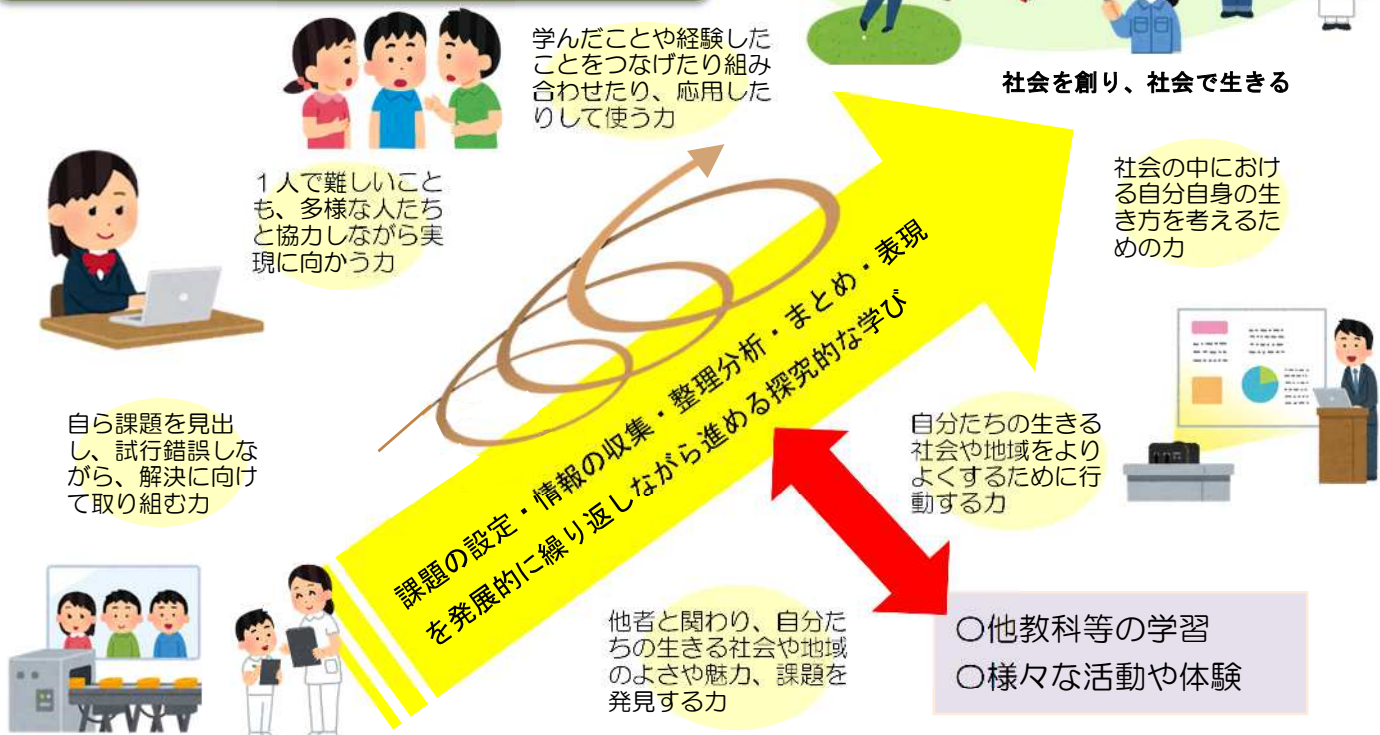
社会の一員としての役割を果たすとともに、それぞれの個性、持ち味を最大限に発揮しながら、自立して生きていくために必要な能力や態度を育てる教育であり、子どもたちの社会的自立や共生・協働の精神を培う視点から、各学校における教育活動を幅広く見直し、これまでの取組を価値づけ、改革していくための理念です。

これからの社会で大切になる力は何だろう？



児童生徒は、教科等の学習や学校での様々な活動や体験などを通して、それぞれの教科等の単元の目標の達成を目指すとともに、自立に向けて大切になる力や態度を身に付けていきます。

例えば 総合的な学習（高校：探究）の時間では…



上の図のように、例えば「総合的な学習（高校：探究）の時間」では、その探究の過程において目標とする資質・能力と併せて、他教科等の授業や学校での様々な活動、体験などで培う力や態度も合わせながら、基礎的・汎用的な力や態度を身に付けていきます。そしてそれは、持続可能な社会の創り手となることや、自分の個性や持ち味を最大限に発揮しながら、自立して生きていくことにつながっていきます。

これからの社会で自立して生きていくのに必要な力を育てるために、 家庭ではどのようなことをしていけばよいでしょう？

「キャリア在り方生き方教育」は、学校だけでなく、家庭や地域と連携して進めるものです。例えば、ご家庭では、次のようなことを意識してみるのはいかがでしょうか？

身の回りのことや社会のことについて、子どもと話す。

- その子なりに感じたことや考えをじっくり聞いてみてください。
- 子どもの「なぜ」を受け止めて、一緒に調べたり考えたり話したりするのもよいですね。



町や地域で行われているイベントや行事に、子どもと一緒に参加する。

- 自分の過ごす町や地域のよさを知ることは、社会への参画意識を育てる第1歩です。
- ダウンロードして使える「かわさきイベントアプリ」も活用できます。
(市立学校で使う GIGA 端末にも入っています。)



まずは、大人から「ウェルビーイングの向上」を意識してみる。

- 大人が「ウェルビーイング」の実現を目指している姿は、子どもたちが「自分らしい生き方」を考えるきっかけになるのではないだろうか。

